

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個24事08

政策名	5 安全な港	24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト		
個別施策名	24 海岸保全施設の機能を維持・強化する					
事務事業名	08 防潮壁等改良事業	継続	拡大	拡大	連絡先	052-654-7921
					連携課	工事課、港湾工事事務所、施設事務所
目的	海岸保全基本計画に基づき、高潮対策として海岸保全施設の改良等を行うことにより、海岸保全施設の機能を維持します。				事業期間	平成20~25年度
概要	整備場所:名古屋港区潮風ふ頭、稲永ふ頭、大手ふ頭、中川口、築地・ガーデンふ頭、大江ふ頭、昭和ふ頭、船見ふ頭、潮見ふ頭 内容・規模:海岸保全施設の改良 総事業費:11.8億円 事業手法:防災・安全交付金				根拠法令等	社会資本整備重点計画 海岸保全基本計画
事業着手時点の評価	海岸保全施設の改良等を行うことで、海岸保全施設の機能が維持され、背後地域の生命財産を守ることができます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	引き続き、壁体化及び老朽化対策を行うとともに、地域防災計画の見直しを踏まえ、平成24年度に実施した新たに整備する陸閘の設計の修正設計を行う予定です。				関連シート	個24事05「護岸延命化(改良)整備事業」、個24事06「防潮壁嵩上(改良)整備事業」、個24事07「防潮壁等(改良)整備事業」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	防潮扉の壁体化と、矢板式護岸の老朽化対策を行いました。老朽化対策については平成25年度に予定していた地区の対策を完了しました。								
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)	
総事業費 計	千円	26,600	49,800	110,400	188,300	102,400	477,500	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/改修費/海岸防災費/工事請負費	
国費	交付金	千円	12,800	24,200	55,000	75,300	50,600	217,900	(算出計算式) 本組合の負担割合は 胸壁 総事業費の5分の3 陸閘・老朽化 総事業費の2分の1
		千円	13,800	25,600	55,400	113,000	51,800		
人員費相当額 計	千円	13,645	13,485	12,844	16,376	13,140	69,490	(その他) 平成21年度は事業費に事務費(人員費)を含む。 平成24年度18,400千円を平成25年度に繰越して実施した。 平成25年度事業費は最終確定額ではありません。	
正規職員	人	1.59	1.59	1.49	1.84	1.50			
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
合計(国費除く)	千円	13,800	39,085	68,244	129,376	64,940	315,445		

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	25	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	3.4	10.4	12.0	18.7	8.9	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。24年度より、総事業費を9.5億円から11.8億円に変更しています。
	実績	3.2	6.0	13.3	16.0	8.7			
	達成率(単年度%)	94.1	57.7	110.8	85.6	97.8			
	達成率(累計%)	3.8	9.8	23.1	39.1	47.8			
平成25年度までを総括した事業進捗率の説明	<ul style="list-style-type: none"> 防潮壁の嵩上げは、平成24年度の海岸保全区域の指定に期間を要したため、完了時期を平成24年度から平成25年度に変更し、平成25年度に完了しました。 中川地区と大手西地区における矢板式護岸の老朽化対策は、当初の予定通り平成25年度に完了しました。 防潮扉のアルミ化は、愛知県の地域防災計画の見直しを踏まえた修正設計が必要となったため、整備完了予定を平成26年度から平成29年度に変更し、修正設計を平成25年度に実施する予定でした。しかしながら、内閣府の南海トラフ巨大地震に関する公表の遅れに伴い、愛知県の地域防災計画の見直しが遅れたため、平成25年度当初予定していた修正設計を平成26年度に変更しました。このため、予定していた事業進捗率に達することが出来ませんでした。今後は平成26年度に見直しを踏まえた設計を行い、平成27年度から防潮扉のアルミ化を実施していく予定です。 防潮扉の壁体化は、予定通り事業進捗しているため、平成29年度の完了に向け、引き続き事業進捗を図って行きます。 								

4 ACTION(取組)

個別評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	延伸			海岸保全基本計画に対応した整備を早急に行う必要があるため。(H25→H29に延伸)
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組				
引き続き、陸閘改修・壁体化、沿岸防災情報管理システム改良及び老朽化対策の事業進捗を図っていきます。				